

2021 年 8 月 2 日

各 位

株式会社新生銀行
新生企業投資株式会社**セレンディップグループとの共同投資等にかかる業務提携について**
～中堅・中小「ものづくり」企業の支援体制の拡充に向けて～

株式会社新生銀行（東京都中央区、代表取締役社長 工藤 英之）および新生企業投資株式会社（東京都中央区、代表取締役社長 松原 一平）は、セレンディップ・ホールディングス株式会社（愛知県名古屋市中区、代表取締役社長 竹内 在）、セレンディップ・フィナンシャルサービス株式会社（愛知県名古屋市中区、代表取締役社長 高村 徳康）と、共同投資等にかかる業務提携契約を 2021 年 7 月 30 日付で締結しました。

【業務提携の主な内容】

- (1) 共同投資及び投資先企業の経営支援
- (2) 取引先・投資先企業に対する支援（プロ経営者派遣/コンサルティング/再生型事業承継支援）
- (3) 事業承継等の M&A 案件に係るフィナンシャル・アドバイザー業務
- (4) 製造業を中心とした事業承継に関するセミナー等の共催

セレンディップグループは、中堅・中小企業の成長をサポートするパイオニアとして「経営の近代化」を推進し、事業承継とプロ経営者の派遣を柱とした独自のハンズオンでの支援サービスを提供しています。本取り組みを通じて、自動車部品産業を中心とした中堅・中小ものづくり企業に対する豊富な経営改善の実績を有しています。

新生銀行グループは、新生銀行の全国の営業拠点を通じた幅広い顧客基盤と、新生企業投資での取り組みを背景とした豊富な投資実績やファンド運営ノウハウを有しています。

本業務提携では、新生銀行グループの金融面での専門性および全国の顧客基盤と、セレンディップグループが有する中堅・中小企業向けハンズオン支援のノウハウを活かし、主に「ものづくり」企業に向けた共同投資と各種共同支援を軸に協働することで、多くの中堅・中小規模のお客さまが抱える事業承継や経営課題の解決を目指します。また、本業務提携を契機として、将来的にはセレンディップグループが有する製造業を中心とした企業価値向上ノウハウと、新生企業投資が有する豊富なファンド運営ノウハウを最大限活かした共同ファンドの設立も検討していく方針です。

新生銀行グループでは、中期経営戦略において事業法人のお客さまに向けた「事業パートナー型ビジネス」の展開を掲げています。ハンズオン支援に長けたセレンディップグループとの連携も活かし、従来の金融サービスに留まらない、より一層お客さまの事業に寄り添った支援体制の拡充を目指していきます。

以 上

お問い合わせ先
新生銀行 グループIR・広報部
下村、風間、伊佐
Shinsei_PR@shinseibank.com